

衆議院小選挙区 政見放送の持ち込みディスクの技術基準

日 本 放 送 協 会

★必ずご確認ください

・以下に記載するNHKの技術基準を満たしていない場合、放送時に政党側の意図する映像や音声を正確に表現できない可能性があります。
・ディスクを持ち込まれる際には、NHKが以下の技術基準に基づいて確認を行います。基準を満たしていない場合は、修正や再提出をお願いすることがあります。その際は、NHK担当者と十分に協議の上でご対応ください。

1. ディスク(テレビ・ラジオとも同一規格)

(1)種 類

XDカム用 PFD(Professional Disc)

(2)ディスク

1層式 PFD23A:リライタブル(書き換え型) 23GB または、
2層式 PFD50DLA:リライタブル(書き換え型) 50GB

2. 映像周波数

フレームレート 29.97fps

フィールド周波数 59.94Hz インターレース方式

3. 収録フォーマット(テレビ・ラジオとも同一規格)

(1)下記「提出するディスクの収録フォーマット」と「提出するディスクの収録フレーム」に従って記録する。

(2)記録コーデックは、
SONY XDCAM MPEG HD422 ビットレート 50Mbps(1920×1080) で記録する。

(3)基準信号

映 像:

ARIBマルチフォーマット・カラーバー(ARIB STD-B28準拠)

または、これに代わる信号。100%白、0%黒の部分があること。

音 声:

1kHz 0VU(−18dBFS)。1・2チャンネルに同一信号を記録する。

(4)表示パターン

「候補者名」「政党名」「道府県名」「テレビ・ラジオの別」「内容時間(9分以内)」を表示する。

(5)放送開始点は、表示パターン終了から5秒後とする。

表示パターンから放送開始点までの5秒間は、放送内容の冒頭映像を記録する。

また、放送終了点あとの約15秒間は、放送内容の最終映像を記録する。

4. 収録レベル等

(1)映 像: 輝度信号は、最大値が100%を超えないこと、最小値が0%を下回らないこと。

・トランジェントパルスの成分(定期的に発生しない信号)は、+109%まで許容する。

なお、マイナス方向の輝度信号は存在してはならない。

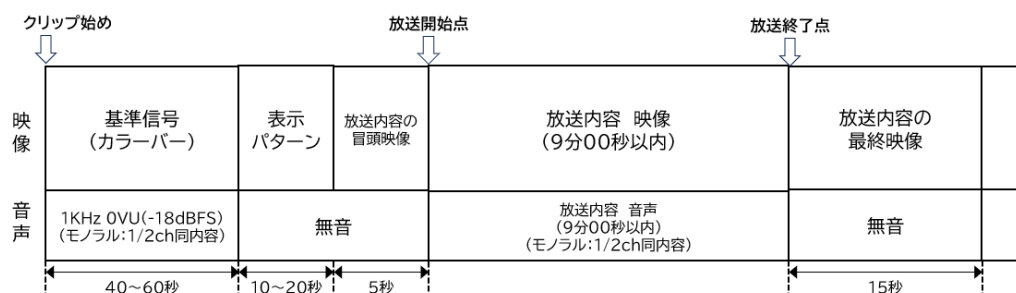
・セットアップは0%とする。

・クロマ信号は、ベクトル스코ープの100%原色点(R、Ye、G、Cy、B、Mg の6点)を結ぶ六角形内に収まっていること。

- (2)音 声： 平均ラウドネス値を-24.0LKFS とすること(ただし、±1LKFS を許容範囲とする)。
(参考:ラウドネス値測定は、モノ出力をラウドネスメーターの L/R にパラで入力する。
または、1・2CH同じ音声で制作し、その1・2CH出力を L/R に入力する。)
- ・ピークレベルは、サンプルピークメーターで-3dBFS 以内とする。
 - ・モノラル(1CH=主音声、2CH=1CHと同じ音声) であること。
 - ・過度のコンプレッションや過度の高域周波数の強調を行わないこと。

- (3)タイムコード： 表示パターン開始点から最終映像終了点まで連続したタイムコードであること。
(LTC)が収録されていること。ドロップフレーム(DF)を使用すること。

「提出するディスクの収録フォーマット」



※注 基準信号から放送内容の最終映像までは同一クリップで収録されていること。

「提出するディスクの収録フレーム」

提出ディスクの内容は、16:9のハイビジョンフレームで制作する。

★注意★

- ・放送は、提出されたディスクからNHKの放送用メディアにコピーして行う。
- ・本技術基準は選挙ごとに見直すことがあります。事前にNHKにお問い合わせください。

5. 「光点滅」について

連続する大量のカメラフラッシュなどの映像は、視聴者の健康に影響を及ぼすおそれがあります。NHKで技術的なチェックを行い、健康に影響を及ぼす恐れのある映像があると判断された場合は、手直しをお願いすることもありますので、ご案内にある「光点滅ガイドライン アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」をご確認頂き、政見放送の作成にはご配慮をお願いします。NHK では、光点滅における確認をハーディングマシン(分析基準:Ofcom[ITU]規格)で行います。

6. ラジオについて

◆納品メディア

提出にあたっては、テレビと同様にディスクで納品すること。テレビの音声と同じ内容の場合は兼用することができ、別納品は不要。(その旨を表示パターンに記載すること)

◆基準信号

テレビ基準で収録した物を納品すること。 ※3.(3)を参照